

(2) 新素材・未利用資源活用

現状と課題

- ◆ 新たな木材需要の開拓、低質材の高付加価値化、更には化石燃料由来製品から木質バイオマス由来製品への切り替えによるプラスチックゴミ削減のためには、木質バイオマスのマテリアル利用^{*}を促進する必要があります。
- ◆ セルロースナノファイバー^{*}、改質リグニン^{*}などの木質バイオマスのマテリアル利用について、国の研究機関や企業では研究開発が進められていますが、実用化された事例は多くありません。

将 来 ビ ジ ョ ン

- ◆ 木質バイオマスのマテリアル利用が進み、化石燃料由来から木質バイオマス由来製品への転換が進んでいます。

取組の方向性

- ◆ 木材のマテリアル利用の可能性を調査するとともに、企業と連携して調査・研究に取り組みます。

具体的施策《重点取組》

(マテリアル利用の推進)

- ◆ セルロースナノファイバー、改質リグニン等の木質バイオマスのマテリアル利用についての情報収集を行い、県産木材のマテリアル利用の可能性を調査します。
- ◆ 企業と連携して、山村地域に適応した小規模・低環境負荷な製法により、県産木材からセルロースナノファイバーや改質リグニンを製造するための調査・研究に取り組みます。

数値目標 【新たな森林資源利用】

指 標 (★重要指標)	現状値	目標値
★地域における木質バイオマスエネルギー活用に取り組む市町村数	4	8
燃料用木質チップ・木質ペレット生産量 (千m ³ /年)	119	163